

報告 1 第 2 回村上市地域公共交通活性化協議会の質問に対する回答

資料No.1

(問 1) 山北地域の公共交通は、再編後利用者は増加しているが、費用面の比較ではどうですか。

①

山北地域公共交通再編前後費用面の比較

	R7 (再編前) 4～11月	R7 (再編後) 12～3月	R7 (合計) 4～3月	R7 (再編前) 1 か月あたり	R7 (再編後) 1 か月あたり	再編前：再編後 1 か月あたり
運行経費	25,449,956 円	11,765,175 円	37,215,131 円	3,181,245 円	2,941,294 円	-239,951 円
運賃収入	925,746 円	362,307 円	1,288,053 円	115,718 円	90,577 円	-25,141 円
委託料	24,524,210 円	11,402,868 円	35,927,078 円	3,065,526 円	2,850,717 円	-214,809 円

(回答 1) 1 か月あたりの運行経費を比較すると、約24万円減額されました。

(問 2) まちなか循環とせなみ巡回の利用者数の増減と収支率のバランスがおかしいように思えますが要因は何ですか。

② まちなか循環とせなみ巡回の収支率に関する比較

まちなか循環	R6	R7	前年度比	せなみ巡回	R6	R7	前年度比
利用者数 (推計)	14,874 人	14,472 人	Δ2.7% -402 人	利用者数 (推計)	6,175 人	7,704 人	+24.8% 1,529 人
収支率	11.0 %	10.4 %	-0.6 %	収支率	12.4 %	11.2 %	-1.2 %
運行経費	13,252,382 円	13,030,512 円	Δ1.7% -221,870 円	運行経費	4,890,560 円	5,723,356 円	+17.0% 832,796 円
運賃収入 (推計)	1,460,720 円	1,354,237 円	Δ7.3% -106,483 円	運賃収入 (推計)	607,840 円	643,357 円	+5.8% 35,517 円

(回答 2) せなみ巡回の利用者数の増加と収支率が連動せず、まちなか循環とのバランスが矛盾するような結果となった主な要因は、以下の 2 点に加え、せなみ巡回運行経費の増加が収支率に大きく影響したためと分析しました。

(要因①) 利用者数の推計値が実態よりも上方ぶれした。

せなみ巡回の運賃収入が、利用者数の増加割合ほど増えていないことから、動態調査に基づき推計した利用者数が上方ぶれした。

(要因②) 回数券利用運賃が正しく反映されなかった。

運賃収入の算式 運賃収入 = 当該路線の現金収入額 + Pay Pay 収入額 + (※) 回数券売上の按分額

(※) 回数券売上の按分額 = 全体回数券売上額 × (当該路線の現金収入額 ÷ 全路線の現金収入額)

現金よりも回数券利用者が多い路線の場合、現金収入が少ないため、回数券売上の按分額が増えません。

せなみ巡回の運賃収入も、現金利用者より回数券利用者が多かったため、実際の利用運賃よりも集計額が低くなってしまった。

(問 3) 基本的に収支率は、路線バスの方が良いところが平均的に見れば多いと思う。

令和 7 事業年度は、料金体系や路線変更、廃止、新設など様々な要素が影響していると思うが分析は。

③ 路線バスとのりあいタクシー収支率の推移

		R4事業年度 R3.10-R4.9	R5事業年度 R4.10-R5.9	R6事業年度 R5.10-R6.9	R7事業年度 R6.10-R7.9	備考 (R 4 ～ 6 と R 7 の比較)
利用者数	路線バス	111,480 人	115,586 人	123,911 人	△8.9% 112,852 人	減便の影響により大幅減少
	のりあいタクシー	9,030 人	9,237 人	11,765 人	+18.2% 13,908 人	年々増加
運行経費	路線バス	260,659 千円	267,098 千円	259,679 千円	△16.6% 216,616 千円	減便の影響により大幅減少
	のりあいタクシー	37,862 千円	35,648 千円	42,956 千円	+22.4% 52,557 千円	年々増加
運賃収入	路線バス	21,493 千円	20,933 千円	21,751 千円	△30.4% 15,130 千円	ゾーン制導入、減便の影響により大幅減少
	のりあいタクシー	3,836 千円	3,850 千円	4,835 千円	+27.1% 6,146 千円	利用者の増加に伴い年々増加
収支率	路線バス	8.2%	7.8%	8.4%	7.0%	ゾーン制運賃の導入により大幅低下
	のりあいタクシー	10.1%	10.8%	11.3%	11.7%	利用者の増加により上昇
一人あたり運賃収入	路線バス	193 円	181 円	176 円	134 円	ゾーン制運賃の導入により大幅減少
	のりあいタクシー	425 円	417 円	411 円	442 円	ほぼ横ばい

(回答 3) R 7 事業年度は、路線バス運賃をゾーン制運賃へ移行したことや、日曜運行の廃止、のりあいタクシーへの転換などによる減便を行いました。

この結果、路線バスの運行経費を16.6%抑制することができましたが、運賃収入が30.4%減少したことで、収支率も大幅に低下しました。